

## 第5回 飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会 (議事録概要)

日時：令和元年12月25日(水)午後6時30分

場所：飯山市役所4階全員協議会室

### 1 開会

### 2 あいさつ

委員長)

お忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。

7月11日に第1回委員会が開催され、本件についての諮問をいただきました。

以降、半年間、月1回のペースで審議を重ね、本日は、答申案をご協議いただきたいと思います。

委員の皆様から、それぞれご発言いただいた内容、あるいは本案に盛り込まれている事項への思いなど、ご確認いただきながら答申に向けて最終協議を進めてまいりたいと思います。

教育長)

皆様こんばんは。

ようやく答申案原案を協議いただく最終回となりました。7月から回を重ねるごとに議論が深まり、いろいろな角度からご意見をいただき、最初の回で絶対的な正解はないと申し上げましたが、よりより方向性が見出されると思っております。ご理解をいただきながら答申案がまとめられると思っております。まだ終わっておりませんが、これまで本当にありがとうございました。

### 3 会議事項

#### (1) 答申案について

事務局から説明

委員長)

事前にお送りしております資料は未定稿ということで、本日お配りしてあります資料は若干変更されておりますこと、お含みいただきながらお願いしたいと思います。

最初に1ページの進め方について、説明がりましたがご意見・ご質問等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。特にないようでしたら、本題の答申案についてご協議いただきたいと思います。何かご意見等ありましたらお願いします。一応、この案で正文となりますので、細かなところまでご覧いただきながら、みなさまのご意見や内容、思いが、この表現でよいか含めてご確認いただければと思います。説明いただいた事項については、これでよろしいですか。

それでは細かに確認していきたいと思っております。

それでは小学校関係について、下から3行目ですが、基本的に複数学級ということで、細かな部分で詳しく説明すると、最低1学年36人以上、学校規模で216人規模が望ましいとなっております。前身の課題検討委員会での答申では「複数学級で一クラス20人以上」という表現でしたが、今回、この部分が課題検討委員会とは違う表現に置き換えられております。次、2番の適正配置については、地形上、南北に広がりある市の特徴、積雪等を踏まえ、特に通学時間あるいは距離・特に低学年に安全面・負荷面での配慮を求めるというような内容でございます。

3番の具体的な配置については、それぞれ城南中校区、城北中校区ごとに1校、統合小学校を配置するという提言をするということでございます。

4番は具体的な位置とすれば、3つの条件を示しながら提言していく。

統合の時期については、城北中学校区を先に概ね5年後、次に城南中学校区を概ね10年後を目標としていくのが望ましいという捉え方でございます。

A委員)

よろしいですか。4番の具体的な統合小学校の位置の関係で、①の通学について、低学年の通学与冬期間の配慮はよいのですが、このあたり、たとえばJRだとか路線バスだとか、公共交通機関の利便性を考えた…というような字句というのは入らなくてよいのでしょうか。もしかすると大きな視点で合理的な位置という部分に含まれているという考え方でもよいのかなとも思いますが。

委員長)

実際には次のページになりますが、通学方法について改めて抜き出しをしていて、現行の基準をさらに詰めてください。現行基準も、もう一度考慮・見直してください。という趣旨の14番が追加項目で入っております。

A委員)

了解しました。

委員長)

それでは小学校部分はこれでよろしいでしょうか。それではそのようにさせていただきます。

次は、中学校関係ですが、基本的には小学校と同じ考え方ということですが、6番の適正規模については小学校と同じく複数学級にした場合、最低36人・3学年で3倍の180人の生徒と捉えております。前身の課題検討委員会では、これに加えて一学級30人規模という提言がありましたが、本委員会ではその部分はずして複数学級としております。

中学校の配置については、現在の生徒の推移をみながら、きたるべき時に統合の検討を行うということです。時期については、現在の出生数から城北中学校が概ね15年後には単級になると推測されますので、そのような表現になっております。ですので具体的な中学校の検討については、概ね10年後に改めて検討してはいかがかと言うことで、今回、具体的な部分では先送りというような表現でございます。

委員会では、2校あるほうが学校間で切磋琢磨できてよいというご発言もありましたが、実際に、城北中学校では単級という年が見えてきているということでございます。

中学校の関係、よろしいでしょうか。

B委員)

7番の具体的な中学校の配置のところで、中学校には「新たに」という表現があり、小学校には「新たに」という表現がないので、合わせたほうがよいと思います。

事務局)

3ページ7番の文中、「新たに」は削らせていただきます。

委員長)

それでは他に何かございますか。なければ、これでよろしいでしょうか。次へ進みます。

C委員)

学校統合により発生する資源等「人・もの・カネ」という表現ですが、カネについては表現方法を変えてはいかがでしょうか。

事務局)

財源ではいかがでしょうか。

委員長)

事務局から財源という表現案がでましたが、よろしいですか。では、この部分、財源に修正します。

11番、学校カリキュラムについて、何かご意見ありますか。

なければ次の保育園関係に移りたいと思います。

12番の保育園の適正配置については、すでに、しろやま保育園とあきは保育園の統合が決まり、進められておりますが、ほかの保育園について前身の課題検討委員会では小学校区単位を基本とした保育園配置が提言されておりますが、まだ統合小学校の位置が決まっていない段階においては、今後、小学校位置が決まった段階で保育園配置について検討してほしいということで、先送りという意味合いになっておりますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

それでは13番の児童クラブ・児童センターについても小学校の統合に合わせて統合していくことが望ましいということでございますが、最終的には小学校位置等が決まったところで検討するという意味合いになっておりますがよろしいでしょうか。

なければ、このような形の案でまとめさせていただきたいと思います。

14番については、先ほど説明してしまいましたが、統合に向けては、現行基準をそのまま当てるのではなく、原稿の通学方法についても再検討させていただきたいという提言になっております。よろしいですか。具体的な位置が決まった段階で、もっと地区ごとに合わせるとなると数字では割り切れない課題がたくさん出てくるのかなとは思いますが。それは、その段階で検討するという事。

以上が答申案の項目として、これまで検討いただいた内容の表現を確認いただきましたが。

他に追加等、何かございますか。なければ、2点ほど修正がありました。この案で最終案とさせていただきます。確認の意味で賛成いただける方は挙手をお願いいたします。

全員の挙手がありましたので、これで答申とさせていただきます。

## (2) 答申の日程等について

事務局)

皆様ありがとうございました。いくつかの修正をし、年明けに佐藤委員長様から市へ答申いただく予定でお願いします。日程は委員長と相談させていただきますが、現在、1月17日に答申提出いただく予定で進めたいと考えております。

委員長)

事務局から提案のありましたとおり、正文ができたところで、日程調整し私から答申提出とさせていただきます。よろしくをお願いします。

答申後は、行政又は地域が推進していくということでございますが、委員の皆様から委員会参加しての感想や答申への思い、将来への希望などございましたら、お一人一言ずつ感想なりご意見なりいただけたらと思います。答申提出時の参考とさせていただきます。ありがとうございます。

副委員長)

検討委員会に参加させていただきまして、改めまして飯山市の子ども達が健やかに成長し、将来の飯山を担っていただけるような成長のための協議に参加し検討できたことに感謝しております。

様々な事柄を知ることができ感謝しております。ありがとうございました。

C委員)

前身の課題検討委員会にも参加させていただきましたが、多くの数字を知るとともに、現状の子どもを増やすことは難しいかもしれないけれど、飯山市への移住者が増えるといいかなと思いました。私自身、ここで子育てしたいと思って移住しそれは間違っていなかったと思っていますので、施策を進めていただけたらと思います。

D委員)

参加させていただき少子高齢化で統合は致し方ないのかなと感じていましたが、飯山市は南北に

長いですし、北のほうは積雪も多いので、それを統合していくのは難しい課題がたくさんあるなと感じました。バスにしろ、鉄道にしろ、子ども達の交通手段を確保するには十分とはいえないのかなと感じておりますので、案自体が検討していくということですので、子ども達により良い環境を整えられるようにできたらと感じております。

また学校が地域のシンボリックな存在であったと感じております。それが各地から、統合により地域シンボルがなくなっていく地区があるということも区長協議会等でも考えていけないのかなと感じました。

#### A 委員)

当初、私自身の気持ちは、小規模校の方が、きめ細かな教育ができるのではないかと、というのが主流でした。でも会議に参加し、現場の先生方の「複数学級で切磋琢磨できる環境」という意見や、教育長から「子どもを中心に何がよりよい教育環境なのか考えてほしい」という意見を聞いて、私自身の考えが変わりました。やはり、ある程度の規模の学校が適正なんだろうなと考えが変わってきたのが事実で、大変勉強になりました。ありがとうございました。

#### E 委員)

これから関係者・地域住民向けの懇談会が始まっていくわけですが、2 ページ答申内容下段にある「子ども達に必要な教育環境としての適正規模・配置」ということで、「子ども達に必要な教育環境」に含まれるのが、4 ページの「統合学校の目指す姿」10.11 の部分が、今回の適正規模等委員会の答申を進めることによって、今以上に前進するのだということ地域住民に丁寧に説明していただいて、検討委員会ではこの箇所を大事に考えてきたということ一人でも多くの方にお伝えしていただきたいと思います。

#### F 委員)

委員会出席により子どもたちの将来を考える良い機会になりました。

今回の統合については、子どもたちの数が減っているから統合するというだけでなく、子ども達にとって今以上に飯山市独自の魅力ある教育環境を作っていたらと思っております。

#### G 委員)

難しい会議でなかなか意見が出せませんでした、これから自分の子供たちが成長し、安心・安全に過ごせたらよいと思いました。

#### H 委員)

検討委員会に参加させていただき、飯山市の現状がよくわかりました。待ったなしだということも感じてはいましたが、身に染みてわかりました。それとともに、この内容が地域のみなさまに報道などで発信され、ご覧いただいた方から、学校を支援いただいている方から、統合を機にやめようかという声も耳にしました。これから先、統合が仕方ないものだとしても、地域と学校との関わりを無くさない・絶やさないとすることが大切なのかなと感じました。それ以上に私自身も、自分の子どもが卒業したら終わりではなく、さらに地域に関わっていきたいと感じました。ありがとうございました。

#### I 委員)

小中学校PTAということで参加させていただきました。飯山市に過ごして、そこで学ぶということが他の地域と不公平感なく、引き続き子ども達の為に教育を進めていただけると良いのかなと感じました。今回、私自身が子どものことを考えるよい機会になりました。ありがとうございました。

#### J 委員)

最初は小規模校が良いと思って参加していましたが、メリットなど、状況を知り、もう少し早く統合してもらったらよかったのかなと思いました。ありがとうございました。

**K委員)**

この会議に参加させていただいて大変ありがたかったです。この委員会への参加がなければ、現状や、これからのことを分かっていなかったところがありますので、大変よい機会になりました。

今回、決まったことが、これから5年、10年、15年先に、決まってくるということで、大変なってくるかと思いますが、よろしくお願ひしたいと思っております。ただ、先ほど**C井田委員**さんもおっしゃっていましたが、子どもの減少するのが仕方ないだけでなく、それを食い止める方法が何か無いのかなというのが、これからの飯山市の課題でもあるのかなと思ひました。

**L委員)**

貴重な機会に参加させていただきまして、大変勉強になり、ありがとうございました。

小規模校のPTA会長として、小規模校なりの考えは意見させていただきました。

夫婦で仕事など幅広く話をするなかで、飯山市に住み続けることについてはいろいろ感じるところはありますが、少なくとも今もありがたいと感じているのは、子どもたちの通学についてはスクールバスなど支援もありまして、小学生の子どもたちは歩いて毎日楽しそうに通学していますし、中学ではバス通学で部活にも参加しておりますので、統合について学校数が減るというネガティブに捉えそうなところでも、そうしたソフト面での支援なども伝えてもらえたら、地域理解もあるのかなと思っております。貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。

**M委員)**

検討委員会に参加し、当初は合併するのが当たり前ではないかと思ひていましたが、小規模校・大規模校のメリット、デメリットをお聞きする中で、回答ができるのかと思ひていました。ですが子ども達にとって大事な保育園・小学校、中学校ですので、子どもたちにとっての教育環境について子ども達の事を思ひて検討したものですので、合っているのかどうかはわかりませんが、今現在の最善の答申だと思ひました。ありがとうございました。

**N委員)**

飯山市の子どもの推移を見据えた会議が早い時期からできたということで、今後も、状況の変化などが出てきたときには早めに審議していただき、子育て環境や子ども達の教育環境が、飯山らしい教育になるようにと願ひています。いろいろな面で学ばせていただきました。ありがとうございました。

**O委員)**

通学の利便性、学校と関わる地域の方々など失われる部分もあるかもしれないけれど、新しい部分で生まれる成果、望まれる成果も具体化してもらえればなと思ひました。

**P委員)**

新たな学校づくりというものが、学校だけにとどまらず、新たな地域づくり、そして飯山市をどう作っていくかになるかと思ひます。皆さんに検討いただいた内容が集約されて礎になり、こうした形にできあがったのかと思ひました。学校現場からすると5年後ではなく、今まさに私たちが責任をもって魅力ある学校づくり、地域と共にある学校づくりを、今、進めていくことが5年後10年後につながると思ひますので、しっかりと取り組んでいきたいと思ひます。ありがとうございました。

**Q委員)**

委員の皆さまの意見を聴く中で、飯山市教育にかける思いを感じながら、中学校として、どのようなことをやっていくのがよいのかと、身をもって感じたところがあります。冒頭、委員長からお話がありましたが、私、課題検討委員会から出させていただひている中で、この適正人数には、正直言って違和感がありました。20名とか30名とか。それが今回、長野県基準ということで示されて本当にスッキリしました。これは、この中で、私たちは教育をしっかりやっひていかなくてはいいけないということがありますので、その中で、子ども達により良い教育をとひんことを改めて感じたところではす。

それから、もし可能であれば、今の保育園、小学校、中学校関係者に集まっひていただひているわ

けですけれども、昔から言われている「ゆりかごから墓場まで」ではないですが、意図的に高齢者との関わりといいますか、命のありがたさ、また命を失ったときの悲しみ、そういった環境を意図的につくっていくことも、飯山教育のこれから大事にしていかなければいけないことなのかな。今までは、三世同居が当たり前だったのが、核家族化によって高齢者との関わりが減ってしまう中で、やはり高齢者の方が持っている知識や経験を小さな頃から触れながら育っていく飯山市教育というのが実現していけたらよいのかなと思っております。いずれにしましても貴重な意見を聴かせていただきまして、ありがとうございました。

#### R委員)

会議に出席して、普段では考えてもいなかった少子化の現状などを知ることができてよかったです。中学校環境は、数日前にも部活動で学校間の切磋琢磨する姿を見ましたので、複数校あったほうが良いと思っております。

何年後に統合されると決まってくるのであれば、保護者はある程度入学時など、早めにわかっていた方が、子どもたちも親も驚かないでよいのかと思っております。

#### S委員)

全ての会議には出席できなかったが、何となくしか分かっていなかったところが、資料で数値等を目にし、良い勉強になりました。自分の子ども、その子ども達・等、関わってきますので、よりよい環境となりますよう願っています。

#### 教育長職務代理)

オブザーバーの立場で皆さんの意見交換を聞かせていただいておりますが、ありがたかったのは、冷静に判断していただいたと思っております。やはり自分のお子さんが関わっていると、特にPTA 会長さんは、具体的に毎日の生活の中に どうだ、こうだというようなことが毎日の生活の中に、たくさんあって、それをもとにして不都合なところ、改善してほしいところがたくさんあったかと思うんですが、そういうことも含めて、全てこれからの子どもたちのために、どうしたらよいか、それを皆さんが本当に共通して頭において考えていただいたなと思っております。出していた意見はどれも貴重なものだなと思っておりますし、大事にしていきたいなと思っておりますが、こうやって文章にまとめてみると、本当にコンパクトになって、それぞれ出していた皆さんの想いが、伝わらない部分というのができてしまうな、と。それを地域の懇談会の中で、うまく伝えて、これが簡単にコロコロでできたものではないということ、答申の重さみたいなものを、これから地域懇談会の中でお伝えしていくことが大事かなと思っております。今の感想を聞いていても、最初は小規模が良いと思っていたが数値を見て冷静に考えたときに、私情だけでなくという意見をお聞きして、なるほどなと思いました。だからこそ5年後、10年後、15年後のよりよい教育環境づくりにまい進していかなければと教育委員として、その責を改めて思ったところです。

本当によいご意見と、それぞれ地域の熱い想いを聞かせていただきまして、ありがとうございました。

#### 委員長)

全員の皆さまから、ご発言いただきました。ありがとうございました。こうして皆さんのご意見をお聞きする中で、今、感じる事は、子ども達の教育環境には、家庭で作る教育環境、学校で作る教育環境、地域でつくる教育環境のほかに、やはり社会がつくる教育環境、この場面もそうだと思いますが、こうして多くの皆さんの意見をまとめてつくる教育環境というものを行政で今後展開していただけたらなと思いました。

議題は以上です。皆様から、他にご発言がなければ閉じさせていただきたい位と思えます。ありがとうございました。

#### 事務局)

ありがとうございました。

事務局として用意したものは以上となります。それでは検討委員会は最後となりますので教育長からお礼の挨拶をお願いします。

教育長)

あらためまして、みなさま本当にありがとうございました。

教育問題に絶対的な正解はないと申しましたが、それぞれの立場を超えていろいろなご意見を頂き、本日の最終答申につながったと思っております。

私が統合問題に飯山市として取り組みたいと思った原点は、岡山小学校の統合問題が大きな原点にあります。そして私的なこととなりますが、自分自身が小学校時代、男4人で4年間を過ごしたことについて、良かったのかと問われたときの回答。

やはり子ども達には、できるだけ一定規模の人数の中で教育を受けさせることが、子どもたちの未来にとって、ひとりひとりの可能性をより広げるという意味で、大切ではないかと思ったことが私自身の原点です。

いずれにしても、皆様からは貴重なご意見をいただき、委員長・副委員長を中心に意見をまとめていただきありがとうございました。

この委員会の答申内容を非常に大事にしていきたいと思っております。けしてそれが途中で、ひっくり返るようなことは、まず絶対しません。皆様からのご意見を大事にしながら、さらに地域懇談会、実際の計画案につなげていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

事務局)

以上を持ちまして飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会を閉じさせていただきます。お疲れさまでした。皆様ありがとうございました。

(3) その他

4 その他

5 閉会